



# こうべ森の学校だより

No.101

2022年1・2月号

発行人: こうべ森の学校 編集委員会

発行所: 神戸市北区山田町下谷上上中一里山 4-1

神戸市森林整備事務所内

Tel: 078-321-5937 Fax: 078-371-1087

再度の森の手入れをもっと楽しく、満喫しよう！

代表 佐藤 憲一

コロナの不安感、仕事・家でのうつうつ、いらいらなど人生悩みはつきもの。一緒に森の手入れをしていると、そんな気持ちがいつの間にか解消され、すっきりしてきます。帰りはルンルンとまではいきませんが、いつも楽しく帰ります。

山仕事での危険に加えて、コロナも手変え品替えの変異中。まだまだ、付き合いは続きそう。感染対策や森の安全ルール遵守。ホントに面倒くさいことが多いな〜と、思っています！。でも、基本をきちんと守れば、感染や活動中の事故リスクは、大きく減らすことができるはず。コロナを嘆いていても仕方ない、「めんどくさいが事故のもと」は守りつつ、もっと森の手入れを楽しみましょう。

「弁当持参・座るベンチあったらええな」、「危ないから転落防止のガードレールを作ろう」、「行き来に便利なよう階段つくる」と、平日活動を楽しく満喫させてくれる仲間がいます。

そういった心のゆとりも、事故を防ぐことにも結び付くような気がします。森の手入れに集中するのもよし、いろいろ工夫して自分なりの活動を楽しむのもよしです。

2023年11月、こうべ森の学校は設立から、20周年を迎えます。六甲の森を未来につなごうと始まったボランティア活動。森の手入れの勉強から始まり、現在の第1倉庫、そしてログハウスの建設。大変だったとは思いますが、皆さん熱意に燃え、楽しみながら活動していたように思います。森の手入れにノルマはありません。折角参加しているのですから、「めんどくさい」を乗り越えて、原点「六甲の森を未来につなぐ」活動を一緒に楽しみましょう。



森のリュック用テーブル



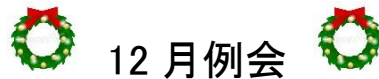
階段？ 集積？



山のガードレール



集積・ニューフェイス登場



12月例会

事務局

12月19日(日)、晴天の下40名が集まりました。午後の、リース作りが、今楽しみです!!



皆さん、いい顔過ぎです!!

今月限定、世界に一つのリースだよ、私が作りました!!

満足顔 😊

どや顔 😏

どちら!?





## 🌲 新会員のご紹介 🌲

たけやり ゆかり  
武鎗 由香里

私が初めて再度公園を訪れたのは、昨年の紅葉の季節。綺麗に色づいた木々が、修法ヶ原池をぐるりと囲み。木のベンチやテーブルが、いくつも設置されていて、多くの方々が、思い思いに 秋のゆったりとした時間を過ごされていて、素敵な場所だなあと感じました。

その美しい再度山の森の手入れや、森を育てる活動をされている森の学校の活動に、友人の橋本さんが誘ってくださったことが、きっかけで、参加させていただくことになりました。よろしく願いいたします。

これまで培ってこられた豊富な知識や技術と経験、森林の整備を行う林業のプロフェッショナル集団の方々に木の切り方をレクチャーしていただき、実際に自分で切ってみるのですが、これがなかなか簡単に切れるものではありません。



(前頁写真、前列右端でリース🌿を持っています)

木を一本切るだけでも 危険と隣り合わせで、とても緊張する作業です。また切りたての木の断面を見ると、根を張って生きていることを実感する瞬間でもありました。自然の中には、発見や出会いがたくさん。私ができることは、ほんの小さなことですが、少しでもお役に立てるなら、教えていただきながら学び、森を作ること。自らの愛情を持って整備し、心豊かな時間を持つために、この森を大切にしていきたいです。整備された広場でのランチタイムは、木漏れ日が心地よく、森の中で食べるおにぎりは、格別です！ 四季折々の再度公園の自然を堪能したいと思います。

## 1月例会

事務局

1月8日、青空の下 34 名が集まりました。今月から、事前申込みではなく、従来通りの当日参加型になり、午後の活動も、森の手入れ・木工工作・自然観察・苗づくりからの選択制に戻りました。





入口付近のオタフクナンテンは、霜降り状態



午後、自然観察組は、再度山上から大阪湾を望み

### コロナ禍の東お多福山ササ刈り（1年を振り返って）

東お多福山草原再生・保全の活動は2007年に開始。現在こうべ森の学校も含め8つの団体に運営しています。長年の活動で大人の背丈以上に茂っていたササは数十cmに。ササユリ、リンドウなどの草原植物がササの間から花をのぞかせるようになりました。今年度はコロナで活動中止が続き、活動は半年遅れて10月、11月、12月の3回のみ。11月・12月の活動は秋・冬の草原全面ササ刈り。参加の皆さんで刈取りました。





1班・2班は人海戦術。ノコギリ鎌と刈込バサミでササを根元から刈り、まとめて集積場所まで運搬しました。

(西宮明昭山の会・東灘マスターズ山歩きの会・東おたふく観察会・日本山岳会・環境省神戸事務所の皆さん)



コドラート内も人海戦術でササを手刈り



動力班：刈払い機で背の高いササを刈取り

動力機班：刈払機・電動バリカンでササの刈取りに専従。刈ったササは、1班・2班の方が、集積場所まで運搬してくれました。

(ブナを植える会・こうべ森の学校の皆さん：刈払機5台、電動バリカン3台)



刈払機：安全確保のため隣と間隔を開けて刈る。



活動終了。動力機班の皆さんお疲れさま。

☆☆次回活動：2022年2月26日(土) 冬の全面ササ刈り。☆☆

### 2022年度活動計画(予定)

- 4/6(水) 春のササ刈り
- 5/18(水) モニタリング(植生調査のみ)
- 7/13(水) コドラート周辺のみ小規模ササ刈り
- 9/28(水) モニタリング(植生調査のみ)
- 11/19(土) 秋の全面ササ刈り
- 12/10(土) 冬の全面ササ刈り
- 1/7(土) 冬の全面ササ刈り
- 2/22(土) 冬の全面ササ刈り
- 3/18(土) 春のササ刈り

☆もっと活動内容を知りたい方は

東お多福山草原保全・再生研究会のHPがあります。  
名称でWeb検索又は下記アドレスにアクセス

<https://otahuku2016.wixsite.com/higashiotafuku>

☆お問い合わせ、参加申し込み：

森学スタッフ：河合又は佐藤まで

⇒集合場所・時間等をお知らせいたします。

☆四季折々、東お多福山草原の植物観察会も実施しています。ぜひご参加ください。

ササを刈り取ることで復活してくれました。キキョウ、オミナエシ、リンドウ。今年の秋に出会えた花々の一部です。



次回観察会は 2022 年 3/24 (木) に開催予定です。上記 HP からお申込み下さい。

### ■ 前々回・前回の、月例会報告

日付	参加者	司会	午後・森の手入れ	木工工作	自然観察	苗づくり
12月19日(日)	40名	木下さん	25名	15名(リース作り)	—	—
1月8日(土)	34名	谷本さん	11名	10名	8名	4名

### ■ お知らせ掲示板

♣ こうべ森の小学校 & 森の幼稚園

♣ 摩耶の森クラブ

(活動日の問合せは、神戸市森林整備事務所に)

♣ ボランティア保険に加入していますか!?

森の手入れ作業中の事故に備えて「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済保険」への加入手続きをされていますか。掛金は500円の負担で、補償期間は4月1日から翌年3月31日までです。受付窓口は、お住いの市区町社会福祉協議会です



当日、6時55分のNHK-TVで、兵庫県南部の降水確率が60%以上の場合は、活動中止です

#### 活動の開催予定

🌲 月例会 3月12日(土)、4月17日(日)  
午前中は、全員で森の手入れ、  
午後は、森の手入れ・自然観察・木工・  
苗作りから、選択を予定しています。

🌲 火・木・土曜日も、活動していますよ!!

こうべ森の学校は、発足当初から、物心両面にわたり、伊藤ハム株式会社の社会貢献活動の支援を受けて、運営しています。

### < 編集後記 >

新年を迎え、1月6日の初出には「山の神」に、活動の安全祈願を行いました。  
新型コロナの早い終息も願いながら、穏やかな一年となるよう、望みます!!

(木下 英吉)